



浦島伝説

令和3年2月18日

第25号

今日一日を大切に ～共に旅立つその日まで～

公立高校（一般入試）の出願が締め切られ、競争倍率がインターネットや新聞等で報道されました。3年生は今、「進路決定」というゴールに向かって、最終コーナーを回っているところです。1・2年生にも、必ずその時はやってきます。「人生初の試練」と呼ばれる高校入試で悔いのない結果を残すために、今、皆さんができることは何でしょうか。残り19日となった人も、残り1年、2年の人も、大切なことは同じです。「目の前にある課題に全力で取むこと」です。先日、すべての学年で「学習の診断」を実施しました。返却された答案用紙の点数に一喜一憂しているだけでは何も変わりません。当たり前のことですが、入試は「1点でも多く取った者の勝ち」です。間違えた問題を見逃さず、入試で二度と同じ失敗をしないよう「声に出して、書いて覚える」「できるようになるまで繰り返し解く」など、しっかり復習しましたか。間違わず答えられたときに、自然と心の中に「自分を信じる力（自信）」がみなぎってきます。

入試当日は、高校の先生に連れられて教室に入り、決められた受験番号の席に座ります。そのとき、不安な気持ちから重く張り詰めた教室の空気に飲まれてしまう人と、「逃げずに頑張ってきたんだ。自分を信じて目の前の一問に集中しよう!」と覚悟を決め、心静かにまっすぐ問題と向き合える人に分かれます。どちらになるかは、今から入試までの一日一日をどう過ごすかで決まります。頑張ってください。

皆の周りには共に闘う仲間がいます。教室には仲間の声援が満ちあふれています。



3年教室掲示「日めくりカレンダー」～一人一人の思いを込めて～